



2025年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月12日

上場会社名 株式会社あさくま 上場取引所 東
コード番号 7678 URL <https://www.asakuma.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 廣田 陽一
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 西尾 すみ子（TEL）052(800)7781
半期報告書提出予定日 2024年9月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年2月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	4,246	—	98	—	99	—	355	—
2024年1月期中間期	3,512	19.7	121	—	129	—	81	—

(注) 包括利益 2025年1月期中間期 355百万円(—%) 2024年1月期中間期 81百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	66.90	66.88
2024年1月期中間期	15.37	15.36

当社は、2024年1月期より決算日を3月31日から1月31日に変更いたしました。これに伴い、当中間連結会計期間（2024年2月1日から2024年7月31日）と比較対象となる前中間連結会計期間（2023年4月1日から2023年9月30日）の期間が異なるため、対前年中間期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2025年1月期中間期	4,059	—	2,857	—	70.4
2024年1月期	3,746	—	2,502	—	66.8

(参考) 自己資本 2025年1月期中間期 2,857百万円 2024年1月期 2,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年1月期	—	0.00	—	—	—
2025年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,570	—	431	—	435	—	546	—	102.76

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 連結業績予想の修正につきましては、昨日（2024年9月11日）公表いたしました「法人税等調整額（益）の計上、及び2025年1月期第2四半期（中間期）並びに通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 前連結会計年度は、決算期の変更により、2023年4月1日から2024年1月31日までの10ヶ月間となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年1月期中間期	5,384,070株	2024年1月期	5,384,070株
2025年1月期中間期	70,728株	2024年1月期	70,629株
2025年1月期中間期	5,313,396株	2024年1月期中間期	5,313,441株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

前連結会計年度は決算期を変更したことにより、2023年4月1日から2024年1月31日までの10ヶ月間となっております。そのため、中間連結会計期間は、前第51期(2023年4月1日から2023年9月31日まで)と当第52期(2024年2月1日から2024年7月31日まで)で対象期間が異なっているため、前年同期との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの取組みといたしましては、経営理念である「“食”を通して、社会に貢献していく」に基づき、お客様にびっくりしてもらいをゴールに取り組んでおります。目指す姿としましては、店舗人員を少なくしながらも、お客様から「サービスが良くなったね」と言って頂くことです。しかしながら、目下のところ、トレーニングが追いついておらず、店舗のQSC(商品品質・接客サービス・清潔さ)についてのクレームを多く頂くようになってしまい、これが来店客数の戻りが鈍い原因ではないかと考え、前期以降引き続き、クレームの改善と、サラダバー充実に注力してまいりました。

サラダバーにおいては、提供アイテム数を15品目から45品目に増やした店舗を順次拡大しております。また、温かいメニュー“ホットバー”の導入、体験型デザートの実装により、アンケートによるお客様の声からも、喜んでいただいている手応えを感じております。新型コロナウイルス流行前の2019年と比べ、既存店の来店客数の戻りは鈍く、2022年は2019年比で70%を切っている状態でした。2024年の4月からはほぼ100%に近づいてきており、6月以降は2019年の来店客数を超えるまでになり、全店では2024年8月まで、20ヵ月連続2桁増収となりました。一方で課題としましては、サラダやデザートアイテム数や“ホットバー”を実施する店舗を増やしても、商品の補充や清掃がうまくできていないと、お客様の満足感が得られず、逆に不満を与えてしまうということが分かりました。そのため、今期においては、徹底することが非常に難しいのですが、補充と清掃のチェックとトレーニングに諦めずに全力で取り組みながら、更なるサラダバーの充実に図って、お客様にびっくりしてもらえるものを目指してまいります。また、コストをかけてでも来店客数増を目指すとして取り組んでいますが、利益を増やすまでの増加に至っておらず、ここが踏ん張りどころだと思っています。

商品の施策においては、毎月開催している「あさくま肉の日」に限定で特別なものを召し上がって頂きたいと思い、通常の輸入牛にプラスして鹿児島黒牛、宮崎牛、讃岐牛などの国産黒毛和牛を月替わりで販売いたしました。また、お客様よりお声を頂いていたシーフードをメインとしたシーフードグリルと、復刻メニューとして和風ステーキを販売いたしました。どちらのメニューもアンケートで喜んで頂けている反面、まだまだ販売数が少なく、まずはお勧めして一度召し上がって頂くことが課題と感じております。

採用と教育においては、前期以降、積極的な外国人の採用と教育を行ってまいりました。2024年7月には新たに11名のモンゴル人、ミャンマー人が入社しました。集合研修を行い、店舗配属後も教育計画をもとにトレーニングを行っていくことで早期に店長を目指せる人材に育ててまいります。

お客様と一緒にしてお店を作る(カンタレス経営)の取組みについて、お客様でもあるあさくまアプリ会員の方が生演奏をする“メロディアン”さんの募集をし、店舗での演奏会を毎月10回以上実施してまいりましたが、全エリアでの実施にいたっていないため、さらに募集を行い、毎月全エリアにて開催できるように進めてまいります。

以上の結果、当社グループの当中間連結会計期間における業績は、売上高が4,246,990千円、営業利益が98,737千円、経常利益が99,603千円、親会社株主に帰属する中間純利益が355,472千円となりました。

当中間連結会計期間における店舗展開につきましては、直営店舗は1店舗を出店し、1店舗を退店したことにより直営店舗は62店舗となっております。FC店4店舗を加えて66店舗となっております。また、株式会社あさくまサクセッションの直営店は1店舗を退店したため8店舗となり、当社グループの総店舗数は、74店舗(FC店4店舗を含む)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて47,084千円減少し、2,434,863千円となりました。主な要因は現金及び預金が59,572千円、売掛金が14,797千円それぞれ減少したことに対して、未収入金が32,133千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて360,426千円増加し、1,624,798千円となりました。主な要因は繰延税金資産が253,435千円、有形固定資産が61,335千円、長期預金が50,000千円それぞれ増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて313,341千円増加し、4,059,662千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18,722千円減少し、1,024,766千円となりました。主な要因は未払法人税等が60,120千円減少したことに対して、賞与引当金が37,088千円、買掛金が16,915千円、株主優待引当金が15,178千円それぞれ増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23,095千円減少し、176,957千円となりました。主な要因は資産除去債務が15,799千円、長期借入金が7,296千円それぞれ減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて41,817千円減少し、1,201,724千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて355,159千円増加し、2,857,937千円となりました。主な要因は利益剰余金が355,472千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は70.4%（前連結会計年度末は66.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して59,572千円減少し、1,990,667千円となりました。

当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は150,736千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益110,468千円、減価償却費51,067千円、賞与引当金の増加額37,088千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は202,701千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出185,906千円、長期預金の預入による支出50,000千円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は7,608千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出7,296千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年3月12日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、昨日(2024年9月11日)公表いたしました「法人税等調整額(益)の計上、及び2025年1月期第2四半期(中間期)並びに通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,050,240	1,990,667
売掛金	283,324	268,527
原材料及び貯蔵品	64,916	57,732
未収入金	44,218	76,352
その他	39,248	41,584
流動資産合計	2,481,947	2,434,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	429,037	506,821
その他(純額)	218,624	202,176
有形固定資産合計	647,662	708,998
無形固定資産		
その他	22,355	21,002
無形固定資産合計	22,355	21,002
投資その他の資産		
破産更生債権等	812,892	—
差入保証金	467,147	464,678
繰延税金資産	89,660	343,095
長期預金	—	50,000
その他	37,546	37,023
貸倒引当金	△812,892	—
投資その他の資産合計	594,353	894,797
固定資産合計	1,264,372	1,624,798
資産合計	3,746,320	4,059,662

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	489,501	506,417
1年内返済予定の長期借入金	14,592	14,592
未払金	170,802	157,824
未払法人税等	74,227	14,107
賞与引当金	18,639	55,728
株主優待引当金	31,728	46,907
資産除去債務	11,000	—
その他	232,997	229,189
流動負債合計	1,043,489	1,024,766
固定負債		
長期借入金	80,352	73,056
資産除去債務	97,500	81,701
その他	22,200	22,200
固定負債合計	200,052	176,957
負債合計	1,243,541	1,201,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,531	91,531
資本剰余金	1,711,770	1,711,770
利益剰余金	805,905	1,161,377
自己株式	△106,429	△106,741
株主資本合計	2,502,778	2,857,937
純資産合計	2,502,778	2,857,937
負債純資産合計	3,746,320	4,059,662

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
売上高	3,512,981	4,246,990
売上原価	1,434,300	1,856,849
売上総利益	2,078,681	2,390,140
販売費及び一般管理費	1,956,695	2,291,403
営業利益	121,985	98,737
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	21
不動産賃貸料	1,603	1,603
受取保険金	4,754	—
その他	2,471	1,042
営業外収益合計	8,838	2,667
営業外費用		
支払利息	791	829
その他	795	972
営業外費用合計	1,587	1,801
経常利益	129,237	99,603
特別利益		
固定資産売却益	—	11,820
特別利益合計	—	11,820
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	954
特別損失合計	—	954
税金等調整前中間純利益	129,237	110,468
法人税、住民税及び事業税	51,224	8,431
法人税等調整額	△3,633	△253,435
法人税等合計	47,590	△245,003
中間純利益	81,646	355,472
親会社株主に帰属する中間純利益	81,646	355,472

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
中間純利益	81,646	355,472
中間包括利益	81,646	355,472
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	81,646	355,472

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	129,237	110,468
減価償却費	38,727	51,067
固定資産除売却損益(△は益)	—	△11,820
店舗閉鎖損失	—	954
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,779	37,088
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△9,550	15,178
受取利息及び受取配当金	△9	△21
支払利息	791	829
売上債権の増減額(△は増加)	△4,149	14,797
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,120	7,183
仕入債務の増減額(△は減少)	19,978	16,915
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,536	△16,526
その他	39,619	△6,209
小計	221,768	219,907
利息及び配当金の受取額	9	21
利息の支払額	△791	△639
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	64,946	△68,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,932	150,736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△52,415	△185,906
有形固定資産の売却による収入	—	32,980
差入保証金の差入による支出	△4,267	△149
差入保証金の回収による収入	173	2,128
長期預金の預入による支出	—	△50,000
その他	—	△1,754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,509	△202,701
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4,176	△7,296
自己株式の取得による支出	—	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,176	△7,608
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	225,247	△59,572
現金及び現金同等物の期首残高	1,732,842	2,050,240
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,958,089	1,990,667

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(中間連結貸借対照表)

前連結会計年度において「投資その他の資産」の「その他」に含めて表示していた「繰延税金資産」は、金額的重要性が増したため、当中間連結会計期間より「繰延税金資産」として独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」に表示していた「その他」127,206千円は、「繰延税金資産」89,660千円、「その他」37,546千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。